

～あなたも挑戦！ 教科で学ぶ雪・冬～
第5回「雪の学習」研究会 を開催

- 教育実践総合センター・附属札幌小学校 -

教育実践総合センターと附属札幌小学校では、道内の教育現場の先生方や学芸員、研究者、行政の方など多くの方に参加頂き、北海道雪プロジェクト（雪プロ）を2000年から進めてきました。身近な「雪」を教室で広汎に活用してほしいと願ったことです。教育現場をサポートするWebページ「北海道雪たんけん館」には年間13万件のアクセスがあり、300件を超える質問に回答しております。その普及を図る標記研究会を2月9日に附属札幌小学校で開催しました。遠くは青森県や礼文町などから小学校教員の方々を中心に学生、保護者など145名の方にご参加頂きました。5回目となる今年は、総合的な学習の時間ばかりでなく、各教科との連携の中でも「雪」の活用を進めたいとの考えで、会の名称も「雪の学習研究会」としました。また、第一線の授業研究に触れる絶好の機会ですので、学生の参加も促すべく、学生による提案授業も初めて実施しました。

午前の公開授業は4年生総合「空からの贈り物」（播磨義幸先生，附属札幌小）で、理科での水の三態変化の学習に絡めて、総合的な学習の時間を展開するものです。本時では、上部をドライアイスで冷却した容器の中に降雪を再現する実験を行い、水蒸気が気相析出して雪となることを考えさせました。前日までインフルエンザで学級閉鎖されていたにも関わらず、児童が実験に熱中して取り組んでいた姿が印象的でした。

午後は山下理事に主催者挨拶を頂いた後、雪プロメンバーなどによる提案授業「教科で取り組む雪の実践」4本を行いました：

- ・5年生家庭科「寒さで作る・雪で保つ北国の食物」（細川健裕学芸員，北海道開拓の村）...200年前の津軽藩士殉難事件からバランスの取れた食事について考えると共に、寒さや雪を利用した保存食という先人の知恵に迫る。
- ・5年生国語「漢字の成り立ち」（割石隆浩先生，札幌市立新琴似緑小）...「雪」という漢字を例に漢字の成り立ちを考え、興味を深める。
- ・3年生英語「外で遊ぼう！」（河上里奈さん，札幌校4年生）... "I'm a little snowman."を歌いながら冬に身につけるものの英語に親しむ。

・6年生社会「世界の国々と雪」～広がるYukigassen～（佐藤正寿先生，奥州市立水沢小）...フィンランドに広まったYukigassenから雪を活かした街作りを進める人々の願いについて考える。雪の活用の意義、授業に雪たんけん館を活かす視点に関する討論を行った後、ICT活用教育の第一人者である堀田龍也先生（メディア教育開発センター）に「小学校のうちに情報をきっちり教えよう！」と題し、ご講演頂きました。先生は小学校3・4年生、5・6年生用情報テキスト「私たちと情報」（学研）を昨秋上梓されました。日々の授業での利用を意図した画期的なものであり、そのコンセプトをお話頂きました。堀田先生、佐藤先生には雪プロに深いご理解を賜り、雪プロ応援団としてご参加頂いております。

参加者の感想例を2例だけ示します：「北海道に暮らしていて、雪というテーマはすばらしい視点だと思いました。それから、教師以外の方が提案授業されている。そういうネットワークがある。雪プロで希望を感じました。」（小学校教員）、「公開授業・提案授業共にとても参考になりました。授業を実際に目の前でみると児童が意外な発言をしたり、さらなる発見を通して感動を得る...」（学生）。本学と全道の教育現場を結ぶ雪プロも活動を更に推進していきたいと存じます。7月27日（金）には夏のセミナーを予定しております。

会の企画・運営にご尽力頂きました雪プロコア会員各位に深謝申し上げます。（高橋庸哉）



附属札幌小3年生を対象にした本学学生による提案授業の様子。

